

岐阜県嚥下障害研究会

モグモグ通信

No. 2 (2005. 4 発行)



発行所: 岐阜県嚥下障害研究会
事務局: 木沢記念病院 ST室

嚥下障害のリスクを考える



朝日大学歯学部 総合歯科学講座
障害者歯科学分野 助教授 玄 景華

モグモグ通信No.2を読む頃には新しい職場、新しい年度を迎えて心新たな気持ちになっていることと思う。岐阜県嚥下障害研究会も順調に発展しており、関係各位の努力に敬意を表したい。

本来、食べるという行為は無意識のうちに成長・発育の過程で形成されつつ、文化・習慣の中で喜びや楽しみに変わっていく。一方で毎年3千人を超える窒息による死亡事故があり、その大部分は食物による気道閉塞が原因である。交通事故を除く不慮の事故としては最も多いという事実は意外に知られていない。もちろん誤嚥による肺炎、低栄養、脱水などの病的状態を含めると多くの人たちが食べることへのリスクを抱えていることになる。摂食・嚥下障害への診断と対応法は確立されてきたが、まだまだ普及しているとは言えない。在宅や施設において、保護者や介護者がリスクを考えずに食物の詰め

込みや流し込みを行なっているケースもある。自己流の判断や介助ではなく、医学的根拠にもとづいた適切な対応や支援が求められている。

さらに知的発達遅れ、認知障害や加齢に伴う障害を持つことにより、食べることへの障害につながっていく。医療機関における重度脳性麻痺児や脳血管障害者への対応が安易に経管栄養や経静脈栄養などに頼っていないだろうか。摂食・嚥下障害のリスクを考えたときに、代替療法として最近胃瘻の導入が急速に増加している。得むをない側面もあるが、内科、小児科や歯科などの医療関係者が摂食・嚥下機能を含めた適切な医学的評価を十分に行ない、QOLも含めてアプローチする必要がある。

摂食・嚥下障害のリスクは必ずしも一定ではなく、摂食・嚥下障害者のQOLを見直すことでその対応が決まる。介護と医療の現場において双方が理解・協力しあえることにより、より安全に楽しく食べることができるようではないか。そのような場を形成するためにも、岐阜県嚥下障害研究会の果たす役割は重要と考える。

成人勉強会レポート

「第3回成人勉強会に参加して」

県立下呂温泉病院 看護師 金子貢代

本研究会の学習会に私が参加したのは、4年前の初級者コースからです。そして、摂食嚥下障害の看護を我病院で広めるために院内で摂食嚥下障害研究会を立ち上げ、医師・看護師・ST・PT・歯科医師・歯科衛生士・栄養士・臨床放射線技師とともに活動をしています。

摂食嚥下障害の看護において口腔ケアは重要な領

第3回成人勉強会の受講風景



域ですが、しっかりできていないのが現状で、目下歯科医師の協力を得て学習会を開催したり、病棟をラウンドし口腔ケアについて指導を受けたりしています。このような中、今回の勉強会「要介護者の口腔ケアー理論と実際ー」はとても興味深く聞かせていただきました。

なお、講義を通して口腔内細菌に関する知識やバイオフィルムを物理的に取ることの重要性、ブラッ

シングの必要性・口腔内清掃の意味などを再認識することができました。この点については、スタッフ指導に取り入れようと思います。また、在宅ケアの取り組みや活動内容を知ることができ、在宅で安全に口腔保清できるよう退院指導に役立てたいと思いました。

最近、高齢者の誤嚥性肺炎による入院が多く、嚥下機能の低下とともに口腔内清掃がしっかりできて

いない患者様が目につきます。先日も義歯を洗浄されていない方が入院され、その真っ黒く汚れた義歯に驚かされました。口腔内を清潔にするその意味を健康な方から在宅でケアをされる方、そして施設にまでも広められたらと思っています。

今後も、新しい情報などいろいろと学べるよう成人勉強会に参加したいと思います。

(1月22日 参加者65名、講師：土田・西村先生)

「成人症例検討会に参加して」

医療法人永仁会 さとう病院 ST 村橋亜紀子

私は、慢性期患者様対象の療養病床にて言語聴覚療法・摂食機能療法の立ち上げから携わらせていただき、今年で3年が経過しました。今回は、日々の臨床において難渋する患者様を症例検討として挙げ、報告させていただきました。他職種で且つ経験年数や対象者など、様々な背景を持つ専門職の方々からの意見を伺うことができ、非常に参考になりました。また、他の症例発表においても 難渋する方に試行錯誤しながら、患者様の食べたいという思いを叶えるために各施設でいろんな工夫がなされておりました。ただ、私自身も 摂食・嚥下に携わるスタッフの1人として、いかに患者様の立場で患者様の気持ちに配



第4回成人勉強会にて（筆者の発表場面）

慮した援助ができるよう努めていくことの難しさを改めて感じました。今回参加させていただいて、小児から高齢者まで 皆「食べる」楽しみのきっかけを得ることで、周囲の人の関わり方や考え方に変化が生じ、加えて患者様自身のQOLの向上につながるのではないかと思います。

(3月19日、参加者36名で症例発表4題を検討)



「やっぱりYくんは大物！」

岐阜県立関養護学校 教諭 竹腰裕泰

Yくんがみんなの前で笑ってくれるかな？、大勢の前で食べることができるかな？という心配もしていたが、やっぱりYくんは大物だった！ 若原先生のお話（導入）で声を出して笑い、大勢の前でも食べられ、だんだん姿勢もよくなり、最後には自分でスプーンを持って食べることができた。沢山の先生方からいっぱい誉めてもらえて、「俺ってなかなかやるじゃん」と思ってくれたかな？！

多職種のプロが集まり、それぞれの視点から専門的な助言を受けることができた。これだけのチーム



第12回小児勉強会にて（右側筆者の発表場面、中央はYくん）

で指導を受けることは他ではまず無理だろう。お母さんもとても満足して帰っていかれた。「他の子もこうして教えてもらいたい」と桂川先生…。午前の部の発表者、石原先生が言っておられたとおり、講習会で習うマニュアル的なことよりも、目の前の子にどう指導したらよいかという具体的な話は一番勉強になり、明日から即実践できるという点でも、非常に多くのものを得ることができた。

安田先生、柴田先生、田本先生の3人がかりでYくんの口と姿勢にアプローチし、「自分で食べられる

んじゃない、やってみて！」と、一番いいところで交代してもらい、Yくんと私を成功へと導き、更にいっぱい誉めてもらえた。提案者が成功体験できるような助言の仕方は、先生方が日々子どもに接するときの姿なのだと思う。

終わってからの満足感、すごく良さを出せたYく

んと、お母さんの笑顔！発表者も、母も、そして何より子ども自身が成功体験と満足感を持って帰ることのできる勉強会であることがとても素晴らしい。感謝です。Yく人を可愛がり、教えて下さった先生方、どうもありがとうございました。

(2月6日、症例検討会を参加者41名にて開催！)

「coolでhotな芳賀先生！」

各務原市福祉の里 たんぽぽ ST 安田香実

神奈川県平塚市在住で、全国적으로活躍の歯科医師 芳賀定(はがさだむ)先生を講師にお招きし、(障害者歯科ネットワーク主催による前日の講演とドッキングした形で、延べ1日半に渡り)「小児摂食・嚙下リハ」についてご講演をいただきました。

当日午前中は、療育者として 子どもやその介護者にどう向き合うかといった、医療・療育の基本的な考え方について事例も交えながら熱く語っていただきました。『知識と理念を持ってHow Toを！』が先生の持論で、ともすると技術論やHow Toものに走りがちな我々に対して、警鐘を鳴らして下さいました。質のよい医療・療育を提供するためには、療育者一専門職として、そして一人の人間として、理念(子どもにとって、遊びとは何か？食事とは何か？幸せとは？発達とは？人生とは？障害とは？など)をしっかり持っていることが大切であるというお話はとても印象に残りました。アンケートにも多くの



方が、「療育者としての基本的姿勢を考えさせられた。」と書いておられました。

午後は、間接訓練の実技を行っていただきました。ペアになってお互いフィードバックしながら行った実技はとても収穫があったと思います。

外見からは一見クールに見える芳賀先生ですが、内面は全くその反対で、一人ひとりの患者さんをととても大切に、そして丁寧に診ていかれるとても暖かいお人柄だということが、しみじみと伝わる講演でした。先生の真摯な姿勢にはとても学ぶべきことが多く、また先生のご講演が聞きたいと思ったのは、私だけではないようでした。

(3月6日、参加者73名で演習を交えて研修！)

事務局からのお知らせ

- ・今年度分 会費納入の受付を開始します！
 納入金額：平成17年度分会費 1,000円
 納入期限：6月末日まで
 振込先：郵便振替 加入者 岐阜県嚙下障害研究会
 口座番号 00890-3-114142
 通信欄に「17年度年会費」と記入！
 *振替用紙の控えをもって会員証とします。
 問合わせ：木沢記念病院ST室 研究会事務局まで
- ・前年度分の会費を未納の方は、会費2年分合わせて計2,000円をお振込み願います。
 — ご協力のほど よろしくお願いたします！ —



耳寄り研修会

【第11回 日本摂食・嚙下リハビリ学会 学術大会】
 テーマ：急性期からのリハビリシステムをめざして
 日時：平成17年9月2日(金)～3日(土)
 会場：名古屋国際会議場
 事務局：愛知県立看護大学内
 大会ホームページ：<http://jsdr.aichi-nurs.ac.jp/>

平成17年度 研修会 年間スケジュール

都合により、日時・場所・内容・講師などを変更する場合があります！

成人部門

小児部門

- 摂食・嚥下リハ 初級課程 講習会
日時：平成17年8月21日（日曜日）予定
午前10時～午後3時
場所：木沢記念病院（美濃加茂市古井町）
- 第1回勉強会
日時：平成17年6月25日（土曜日）午後
場所：朝日大学（瑞穂市穂積）予定
内容：「呼吸リハビリテーションー理論と実際ー」
講師：岡村秀人先生
（JA岐阜厚生連 西美濃厚生病院、理学療法士）
- 第2回勉強会
日時：平成17年8月6日（土曜日）午後
場所：木沢記念病院（美濃加茂市古井町）
内容：「摂食・嚥下障害に対するPT的アプローチー生態心理学的概念に基づく治療について」
講師：富田昌夫先生
（藤田保健衛生大学 教授、理学療法士）
- 第3回勉強会
日時：平成17年10月1日（土曜日）午後
場所：木沢記念病院（美濃加茂市古井町）
内容：「口腔ケアの実際」（第1回）
講師：栗木みゆき先生（訪問歯科衛生士）
多治見市歯科衛生士メンバー2名
- 第4回勉強会
日時：平成18年1月21日（土曜日）午後
場所：木沢記念病院（美濃加茂市古井町）
内容：「口腔ケアの実際」（第2回）
講師：栗木みゆき先生 他2名
- 第5回勉強会
日時：平成18年3月25日（土曜日）午後
場所：木沢記念病院（美濃加茂市古井町）
内容：「症例検討会」

- 第1回（通算 第14回）勉強会
日時：平成17年6月4日（土曜日）
午前10時～午後4時半
場所：平成医療専門学院（岐阜市黒野）
内容：「知的・広汎性発達障害児へのアプローチを考えるー認知発達の側面を含めてー」
講師：木村順先生
（療育塾「ドリームタイム」主宰、作業療法士）
- 第2回（通算 第15回）勉強会
日時：平成17年8月頃（土・日 1日半 開催予定）
場所：未定
内容：「講演および症例検討会」
講師：野村春文先生
（埼玉県熊谷養護学校、自立活動専任教諭）
- 第3回（通算 第16回）勉強会
日時：平成17年10月頃（土・日 1日半を予定）
場所：未定
内容：「呼吸・食事・コミュニケーション障害への援助」
講師：山川真千子先生
（ボバース記念病院、言語聴覚士）
- 第4回（通算 第17回）勉強会
日時：平成18年2月頃（土曜日）
午前10時～午後4時半
場所：未定
内容：「ポジショニング&シーティング」
講師：繁成剛先生
（近畿福祉大学教授、テクノエイドデザイナー）

第8回 学術講演会・総会

- 日時：平成17年11月13日（日曜日）（予定）
- 場所：高山市 一ノ宮公民館（旧宮村村民会館）
- 内容：講演、演題発表、嚥下食展示、書籍販売



ー 編集後記 ー

セントレア、愛・地球博、花フェスタ、土岐プレミアムアウトレット…と今年の中頃は 超活気づいております。そして、当研究会でも それに負けじと年間の研修会予定を 超気合を込めて 企画・立案してみました。ぜひ大勢の方々にご参加いただければ、役員一同幸いです。（T.T.）